

令和3年8月30日

高等専門学校長
高等学校長 様
各種学校長

山口県バレーボール協会
会長 齊藤 宗房
(公印省略)
山口県高体連バレーボール専門部
部長 村山 晋一
(公印省略)

第74回全日本高等学校バレーボール選手権大会
(若さでアタック！春の高校バレー) 山口県代表決定戦のご案内

記

- 1 主催 山口県バレーボール協会 山口県高等学校体育連盟
フジテレビジョン TYS テレビ山口
産経新聞社 サンケイグループ
- 後援 下松市教育委員会
下松市バレーボール協会 周南市バレーボール協会
- 主管 山口県高体連バレーボール専門部
- 2 期 日 令和3年10月30日(土) (男女)
11月 6日(土)・7日(日) (男女)
- 3 場 所 下松市・周南市
会 場 男子 徳山高校体育館(6日)
南陽工業高校体育館(30日・6日)
下松スポーツ公園体育館(7日)
女子 下松高校・徳山商工高校・新南陽高校 各高校体育館(30日)
下松スポーツ公園体育館(30・6・7日)
- 4 競技方法 完全トーナメント戦(決勝戦のみ5セットマッチ)
10月30日(土) 1回戦(男子) 1・2回戦(女子)
11月 6日(土) 3回戦・準々決勝(女子)
2回戦・準々決勝(男子)
11月 7日(日) 準決勝・決勝(男女とも)
- 5 大会使用球 男子：モルテン(V5M5000) 女子：ミカサ(V300W)
- 6 参加条件・感染症防止対策など
(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として以下のことを遵守できる者。
①発熱や風邪症状、咳・痰・胸部不快感、強いだるさや倦怠感のある者、および味覚嗅覚を感じない症状がある者は、参加を取りやめること。

- ②過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を取りやめること。
 - ③同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、あるいは14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を取りやめること。
 - ④大会参加者に感染が判明した場合には、参加者名簿を関係機関に公表する機会があることを了承のこと。
 - ⑤保護者が参加に同意し、所属校長から許可を得ること。
参加者は保護者の「同意書」(様式1)を各校校長に提出し、「校長証明書」(様式2)と合わせて顧問が各会場の本部へ提出のこと。
 - ⑥大会参加者、並びにチーム関係者は、大会当日(各日)、「参加者シート」(様式3)及び「体調チェック表(試合当日朝)」(様式4)を記入し、顧問を通じて各会場の本部へ提出のこと。
 - ⑦大会終了後、2週間以内に感染が判明した場合には、速やかに大会主催者(専門委員長・地区委員)に連絡をすること。その際、濃厚接触者を特定できるよう、「行動歴記録シート」(様式5)を大会2週間前から、記録しておくこと。(大会終了後1か月は顧問がシートを保管しておくこと。)
- (2) 本大会の開催要項および公益財団法人日本バレーボール協会が「バレーボール競技における大会等再開に当たっての基準と再開後の開催時における感染拡大予防のための留意点をまとめた **JVAバレーボールガイドライン(R2 7/7 更新版)**」を基本にして、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下のことを行う。
- ① 大会初日(10/30)と大会2日目(11/6)は、各高校の体育館も会場として使用することをふまえて全試合無観客で実施する。大会3日目は、男女とも観客席がある公共の体育館のみを使用するので、大会直前までの県内の感染状況等をふまえ、観客入館の可否を専門部で検討し、大会初日までにHPに掲載する。
 - ② 各試合において入館及び試合開始時間を設定し、当該試合関係者以外は体育館への入館を認めない。ただし、引率教員や大会役員は大会運営のためであれば入館できる。試合設定時間等は、組合せ抽選終了後HPに掲載する。
 - ③ 試合毎に換気を行う。なお、各セット終了後および試合終了後はベンチの消毒を行う。消毒作業は当該チームで行うこと。
 - ④ 整列時の選手間握手は行わない。試合中の選手は、手のひらを合わせる行為や同類のハイタッチを避け、グータッチや肘タッチに代えること。また、マイボトルやマイタオル使用を徹底すること。
 - ⑤ 開会式は行わない。閉会式・表彰については、内容を簡略化して行う。
 - ⑥ すべての参加者は、**マスクを正しく着用**すること。(試合中の選手はその限りではありません)
 - ⑦ 試合中、ベンチメンバー(補員を含む)は、準備されたイスにできるだけ座るようにすること。アップが必要な選手はアップをしてもよいが、アップゾーンが密にならないよう努めること。
 - ⑧ ベンチメンバーや部員の応援は拍手のみとし、マスク越しに大きな声を出さないよう努めること。
 - ⑩ 各試合会場では、体育館入口付近・周辺通路・階段・2階通路および待機スペースなどが十分な広さをもたないところもあるので、お互いに譲り合いながら通行・使用し、密を避ける行動をすること。また、2階通路や観客席での部員の観戦時には(座席がある会場では着席する)、お互いの距離を十分とること。

- ⑪ その他（財）日本バレーボール協会が出している『感染防止策チェックリスト（主催者向け）』に準じて、大会運営を行う。

7 申込締切 令和3年9月17日（金）

- 8 申込方法 参加条件などを十分ご理解のうえ、参加申込書とMRSのチーム一覧表を各地区委員宛にメールで申し込んでください。

9. その他

- (1) 今後の感染状況によっては、参加条件（部員の入館人数の制限など）の変更や大会が中止となる可能性もあります。大会の直前までに（大会中も）チームへの連絡などHPに随時掲載していきますので（大会に関する追加の注意事項や各会場からの連絡事項など）、注意してご覧ください。
- (2) 当日は別紙「大会出場にあたっての提出書類=5の（1）⑤・⑥」（様式1・2・3・4）一式をご記入の上、ご参加ください。
- (3) 各チーム試合球2球準備する。試合は4ボールとし、ラリー毎に消毒・拭き取りしたボールを使用する。ラリー後のボール回収や消毒・拭き取り作業はスタッフ・ベンチメンバーで行うこと。ボールの空気圧は計測しておくこと。
- (4) ボール以外の各チームの準備物として、**ラインジャッジ用フラッグ、IF（記録）用筆記用具、コートワイピング用タオル**を準備すること。
- (5) 試合終了毎に、ネット・支柱・支柱カバー・レフェリースタンド・記録席の消毒・拭き取り作業を行います。会場内におられる先生方のご協力をお願いいたします。
- (6) コロナ感染症防止対策をふまえた現行の方法で実施するようになって、審判や競技役員が不足し、大会運営が難しくなっています。ぜひとも、審判や競技役員、感染症拡大防止に携わる役員などにも、できるだけご協力をお願いします。引率との兼ね合いで難しい部分もあるとは思いますが、顧問が複数いる場合は、どちらか1名は終日役員として会場にいるなどのご協力をいただけると幸甚です。
- (7) 大会初日・2日目は、午前の部と午後の部に分けてチームを入れ替えていきます。午前の部・午後の部に関わるチーム同士で協力し合いながらの運営をお願いします。会場によっては、駐車場がそれほど広くないところもあります。設定時間もあるので、各チームで時間や人数（台数）を調整して来場して下さい。敗退したチームは、できるだけコートスタッフ業務に必要最小限の人数を残して帰宅するなどの協力をお願いします。また、保護者による車の送迎で、各会場内の駐車スペースに乗り入れることは可としますが、乗降のみとし、長時間その場で待機されることはご遠慮下さい。大会3日目は、運営スタッフ（大会役員・審判・地元高校生補助員）が充分いますので、準決勝で敗退されたチームは試合終了後すみやかに退館・帰校していただきますようお願いいたします。
- (8) 会場毎の制約がある場合は、それを遵守して下さい。
- (9) ビデオ撮影などが必要な場合は、各チーム最低限の台数とし、2階（観客席）にいる部員などが行うことを基本とします。また、卒業アルバムなどの写真撮影のため、業者（山口県内業者または県内在住カメラマン）が入る場合は事前に専門部（委員長）に連絡し、許可を得て下さい。なお、当然のことながら、その業者にもコロナ感染防止対策（マスク着用、健康チェックシートの提出など）に協力するよう周知して下さい。
- (10) 高校卒業後の進路確保のための、大学関係者や企業関係者（あるいはそれ以外の学校関係者等）の入場も原則として禁止します。どうしても必要な場合、事前に専門部（委員長）

に連絡し相談して下さい。入館の可否は感染状況によりますので、大会直前までの感染状況をふまえて検討し回答させていただきます。その際、ご要望に沿えないこともございます。また、状況の好転が見られ入館可能になった場合でも、(9)の業者と同様にコロナ感染防止対策にご協力いただくようになります。

- (11) コロナ禍中の大会運営となっていることを十分ご理解いただき、大会運営および感染症拡大防止対策にご協力いただきますようお願い申し上げます。

10. 問合せ先

〒759-4101 長門市東深川 427-2 tel 0837-26-0500 fax 0837-26-3646

山口県立大津緑洋高等学校大津校舎 山口県高体連バレーボール専門部委員長 吉川幸治